

日吉町自治会だより

発行 日吉町自治会
編集 日吉町自治会
広報委員会
発行日 平成 20 年 6 月

第 3 号 組長総会概要と消防出張所 からのお知らせ

平成十九年度の活動報告（組長総会挨拶要旨）

日吉町自治会

会長 白鳥正次

二年前より女性にも加わって頂き役員を倍増し、自治会の活性化を図って参りました。月一回の役員会には活発な意見交換を行っており、各部門も会員との交流を積極的に図っております。

平成十九年度の主な活動は左記の通りです。

- 一、日吉公園、日吉二丁目公園の公園愛護会による美化運動及び日吉神社の清掃実施。
 - 二、防犯パトロールの継続実施。（東西地区に分かれ毎月第二、第四土曜日夕刻実施）皆様の積極的なご参加をお願いします。
 - 三、学区防災訓練の実施。矢上小学校、日吉台小学校の二校に分かれ港北消防署、地元消防団のご指導により実施。
参加者が少なく多数の方々のご参加をお願いします。
 - 四、日吉駅周辺の違法駐輪禁止活動の実施。
 - 五、日吉地区グラウンドゴルフ大会への参加。尚、毎月第一第四土曜日（八時～十時 矢上小学校）が練習日です。皆さんもご参加下さい。
 - 六、日吉神社の祭礼、餅つき大会への参加。
 - 七、子ども会主催の夏休みラヂオ体操への参加。
 - 八、慶応義塾大学矢上祭、体育会桜スポーツフェスタに参加。
 - 九、会員に対する広報活動として「日吉町自治会だより」を年二回発刊。
 - 十、行政からの広報紙、チラシ等の配布、回覧。
- その他親睦を深める為、婦人会、老人会、消防団主催による行事に参加しました。又、地域内に建設される住宅、マンション等について、自治会への積極的な参加をお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

平成二十年五月十一日

日吉消防出張所の紹介とお願い

日吉消防出張所

所長 三浦秀臣

日吉消防出張所の紹介

日吉消防出張所は、消防車一台、はしご車一台、救急車一台の三台を有し、二十四時間交代で職員が勤務しています。

災害出場がないときには、住宅、学校及び職場で消火器の使用法や出火防止の広報普及活動、小学校通学路の巡回など、地域の安心、安全のために努力しています。消火器の使い方も体験できますのでお気軽にお声かけ下さい。勿論災害を想定した訓練も実施していますので、消防出張所の前で、はしご車を伸ばしている姿を見た方もいらっしゃるのではないのでしょうか。地域防災拠点訓練に参加しましょう

大規模な震災や大災害が発生した直後においては消防をはじめとした公的な防災力のみならず、地域の方々が率先して消火活動や救助活動を行う必要があります。阪神淡路大震災では

救出された八割以上の方が地域の方々に救われたという事実もあります。「私たちの町は私たちが守る」といった意識でお互いが協力し、被害を最小限度に食い止めることが出来ます。

具体的には、小さな火災のうちには、消火器を使って、消火することが可能です。建物の倒壊や落下物の下敷きになっている人がいたら、太い木材や自動車に備えつきのジャッキを利用して、壁や柱を持ち上げて助け出すことも可能です。その後、避難先での不慣れた生活も皆さんの理解と協力が何よりも必要になります。

毎年十月下旬には日吉台小学校、十一月三日には矢上小学校において地域防災拠点訓練を行っています。この訓練では自治会、学校、行政が協力して震災発生時に地域住民の相互協力による防災活動や避難先での生活が維持できるように真剣に取り組んでいます。本年も大勢のかたの参加をお願いします。

お知らせ

◆消防自動車小屋が移転しました
旧消防自動車小屋は、一昨年、所有者変更があり、早急な移転の必要に迫られました。

横浜市の協力により、緊急避難的に日吉公園のはずれに設置しましたが、場所は不便で且つ周辺道路の幅は狭く、活動は非効率な為、かねて検討を重ねてまいりました。

この度、関係者のご尽力を得て、自治会館に隣接した駐車場の一部を使用させて頂く事になり、四月に改造工事を行い、緊急時には

効率的に動ける体制が整いました。尚、前消防自動車小屋は自治会倉庫として有効活用いたします。

◆ミニギャラリー展を開催します
自治会館一階ホールを皆様に利用していただく為、会員の作品展示会を計画しています。

回覧でお知らせする予定ですが、開催時には、絵画、写真、手芸物等々の出品にご協力下さい。

又、個人あるいはグループで、作品展示会の開催希望があれば、所属地区長にお申し出下さい。

◆古紙、古布、段ボールの回収について

古紙、古布、段ボールの回収に限っては、集積場に貼付しているステッカーに関係なく、毎週木曜（東側地区）金曜（西側地区）に行われていますのでお間違えないうちお願いします。尚、ゴミ分別が厳しくなっておりますので、ご注意ください。

◆敬老のお祝いについて

毎年、七十五歳以上の方に対し敬老の意を表わせて頂いておりますが、本年も、心ばかりのお祝いをさせて頂きたいと存じます。六月末にて申請頂きましたが、お祝いは九月上旬になる予定です。



組長総会開催 (決算及び予算の概要)

平成二十年五月十一日(日)夜来の雨も上がり、出席頂いた組長の方々は四五名に達し(昨年三二名)定刻に開会された。

委任状提出を含め、年々議決参加者の増加が見られる。

午後一時半開会、議長に片野芳昭氏を選任、直ちに総会成立の成否を確認、組総数二四四組のうち出席者四五名、委任状提出者一五八名にて過半数を占め、総会は成立、議事に入った。



森 健さん



ト部 みさ子さん

会長挨拶の後①平成十九年度事業報告並びに決算報告②会計監査報告③平成二十〇二十一年度役員選任④平成二十年度事業報告並びに予算案の四議案が審議され、質疑応答の結果、出席者全員の賛同を得て可決された。

尚、昨年完成された自治会館の一階ホールの積極的な利用を図る為、住民の絵画、写真、手芸物等々の作品を展示したいとの意見があり、具体的に進めることにした。

次いで功労者の表彰が行われ、永年地域福祉活動に携わり、明るい町づくりに貢献した民生委員の森健氏とト部みな子氏の二名が表彰された。

平成十九年度決算概要

一般会計	収入の部	会費	五九一万円	支出の部	会費	六二〇万円
	補助金他 ※	補助金他 ※	五一〇万円		補助金他 ※	四九三万円
	合計(含前期繰越)	合計(含前期繰越)	一三九三万円		合計(含前期繰越)	一一一三万円

収入の部	運営費	二一三万円	収入の部	使用料他 ※	一七三万円	
支出の部	団体活動費他 ※	一七六万円		繰入金	二〇〇万円	
街灯管理費	街灯管理費	一六五万円		合計(含前期繰越)	一四五八万円	
募金費	募金費	一四五万円		支出の部	建物管理費	一一〇万円
その他 ※	その他 ※	一五六万円		建物設備費	五三〇万円	
資産会計繰入	資産会計繰入	二〇〇万円		建物維持経費 ※	四五万円	
合計	合計	一〇五五万円		合計	七六三万円	

次期繰越金	三三七万円	次期繰越金	一四五八万円		
収入の部	特別繰入金	六三七万円	支出の部	建物管理費	一一〇万円
使用料他 ※	繰入金	二〇〇万円		建物設備費	五三〇万円
繰入金	特別繰入金	六三七万円		建物維持経費 ※	四五万円
合計(含前期繰越)	合計(含前期繰越)	一三六三万円		合計	七六三万円

支出の部	建物管理費	一〇七万円	次期繰越金	一四五八万円
建物設備費	建物設備費	一三四万円		今年度には公会堂の屋根修復工
建物維持経費 ※	建物維持経費 ※	三七万円		事が予定されており建物設備費に
合計	合計	二七八万円		五三〇万円計上した。
次期繰越金	次期繰越金	一〇八五万円		(※は小項目を合算計上しており

平成二十年度予算概要	一般会計	収入の部	会費	六二〇万円
		補助金他 ※	補助金他 ※	四九三万円
		合計(含前期繰越)	合計(含前期繰越)	一一一三万円

収入の部	運営費	二一三万円	収入の部	使用料他 ※	一七三万円	
支出の部	団体活動費他 ※	一七六万円		繰入金	二〇〇万円	
街灯管理費	街灯管理費	一六五万円		合計(含前期繰越)	一四五八万円	
募金費	募金費	一四五万円		支出の部	建物管理費	一一〇万円
その他 ※	その他 ※	一五六万円		建物設備費	五三〇万円	
資産会計繰入	資産会計繰入	二〇〇万円		建物維持経費 ※	四五万円	
合計	合計	一〇五五万円		合計	七六三万円	

(※は小項目を合算計上しております。詳細は回覧でお知らせした、自治会収支決算書、予算書をご覧ください)

平成二十年度の日吉町自治会役員

- 会長 白鳥 正次
 - 副会長 片野 芳昭
 - 副会長 森 正和
 - 第一地区長 渡辺 雅弘
 - 第一副地区長 深瀬 富子
 - 第二地区長 清水 憲三
 - 第二副地区長 板垣 晴子
 - 第三地区長 桜井 政幸
 - 第三副地区長 仲田 慶助
 - 第四地区長 横山 磯港
 - 第四副地区長 石田 太一郎
 - 第五地区長 伊藤 鈴太郎
 - 第五副地区長 戸村 晶子
 - 第六地区長 渡辺 正義
 - 第六副地区長 原 照夫
 - 環境部長 森 健
 - 福利厚生副部長 加藤 君子
 - 福利厚生副部長 池田 妙子
 - 総務部副部長 小島 和子
 - 広報教育副部長 斉藤 正枝
 - 安全管理部副部長 岩本 千歳
 - 会計監査 森 清
 - 会計監査 村田 恒郎
- 一部役員の兼任業務は次の通り
- ※会計 森正和、原照夫、※総務部長 片野芳昭、※広報教育部長 渡辺雅弘、※道路交通部長 清水 憲三、※安全管理部長 桜井政幸
 - ※道路交通副部長 仲田慶助、※

福利厚生部長 横山磯港、※安全管理副部長 石田太一郎、※防犯パトロール隊長 森健、伊藤鈴太郎、※総務副部長 戸村晶子、※環境副部長 渡辺正義

「日吉」の歴史 その二

昭和八年六月、横浜市は日吉村（大正十四年旧北加瀬が編入され八ヶ村となった）に対して正式に合併の申し入れをしてきたが、同年七月には、川崎市も日吉村合併交渉委員を選任し、合併の申し入れをしてきた。横浜、川崎両市よりラブコールを受けた日吉村は、その後四ヶ年間の歳月にわたって議論紛糾を重ねる事になる。

横浜市は先ず、給水計画、税負担の有利性を強調したパンフレットを作成し、積極的にアプローチしてきた。一方川崎市は、中原町が政治的、社会的にも古くから交流が深かった事などから、日吉村村議会、議員、その他有力者への戸別訪問を行うなど緊迫した情勢となった。この為、日吉村は議論沸騰し、全村横浜合併派と分割合併派に分かれ、尖鋭化の一途を辿ったのである。当時の日吉村は村内のほぼ中央を矢上川が流れ東部の四字（北加瀬、南加瀬、鹿島田、小倉）は古くから稲毛、川崎二ヶ領用水の水利組合等川崎市側との関係があつたが、日吉駅を中心とした西部四字（矢上、駒林、駒ヶ橋、箕輪）は主に丘陵地帯という事もあり、川崎市との結びつきはあまり無かつた。

横浜、川崎両市長は度重なる打ち合わせを行い、更には神奈川県知事公室における会合等により、矢上川を境に各々四字ずつに分割合併の案が示されたが、これが了承されるまでには、まだまだ多くの時間を要するのである。

（次号に続く）

編集後記

★今回は、救急や災害で大変お世話になる消防署に投稿をお願いしました。世相を反映してか、最近では火事の件数や救急車の出動回数が増加しているそうです。

自治会には消防団や家庭防災委員組織があり、住民の直接的、間接的な支えになっていきますが、いずれも高齢化は現実です。

消防団員が減少し、企業に勤めるサラリーマン団員が増加してい

る今日、昼間の消防力低下を防ぐためには女性の積極的な団員応募に期待したいものです。

★自治会役員、部長はほとんどの方が再任され、体制としては大きな変化も無く新年度に入りました。アメリカの民主主義は「草の根の民主主義」のお陰だといわれています。

名もない平凡な庶民の一人ひとりが、草の様に根を張り、伸ばすことによって民主主義の花が咲いたというのです。

現執行部は、地味でささやかですが、コツコツと自分の役割を果たす事によって、一本の根となり、草になって、日吉という小さな社会が少しでも良くなるようにとの思いを持って活動しています

皆さんへのお願い 回覧板、掲示板、本紙などによる地域情報に一層の関心を持って頂くと共に、仲間として地域活動にご参加ください。（防犯パトロール、グラウンドゴルフ、お祭り、災害避難訓練等々いろいろあります）

又、自治活動に興味のある方の情報、ご意見等々、是非お聞かせ下さい。（広報委員会）